

小城市立歴史資料館 中林梧竹記念館だより

※開館時間 9時～17時
 ※休館日 月曜日、4月29日(木・祝)、5月6日(木)
 【問合せ】小城市立歴史資料館 文化課(桜城館2階) ☎71-1132

朝日を描いて100年

「青木繁と清流祇園川」展



朝日

近代洋画に大きな足跡を残しながら28歳の若さで没した青木繁の作品を展示します。

小城高校同窓会黄城会所有の「朝日」など16点の青木作品をはじめ、明治期に活躍した洋画家百武兼行や久米桂一郎の作品なども展示します。

◇会期…5月1日(土)～6月6日(日)

◇休館日…月曜、5月6日(木)

※5月3日(月・祝)は開館

- ◇場所…小城市立中林梧竹記念館
常設展示室(桜城館2階)
- ◇入場料…210円

記念講演会

- ◇演題…「青木繁と小城」
 - ◇講師…金子剛氏(東光会審査員)
 - ◇日時…5月3日(祝・月) 14時～
 - ◇場所…研修室(桜城館2階)
- *要入場券

「青木繁と小城の関わり」
 青木繁は、明治40年に父危篤の知らせを受け東京から久留米に帰り、その後は九州地方を転々とし、43年7月から8月にかけて小城で過ごしています。



平島信像・青木繁作
個人蔵

東京の美術学校「不同舎」の先輩で旧制小城中学校美術教師平島信を頼り、祇園川沿いにあった平島宅に身を寄せます。

その後、唐津に行き「朝日」などを制作し、再び小城に帰っています。10月初めころ古湯にスケッチに行き、10日間ほど滞在し、小城に戻りました。しかし、咯血し福岡市の松浦病院に入院。翌年3月亡くなります。

古文書講座受講生募集

江戸時代の記録から

地域の歴史を考えましょう。

- ◇日時…4月24日(土) 14時～
以降は毎月第2土曜日
(変更の場合あり)
- ◇場所…小城市立歴史資料館研修室
(桜城館2階)
- ◇講師…岩松要輔氏
(小城郷土史研究会会長)
- ◇受講料…年間1,000円
(資料代等)
- ◇申込先…小城市立歴史資料館

小城について知ろう!

問題

小城市民学芸員問題集より
 青木繁が祇園川にハヤを釣りに行ったときの和歌、
 「小流れに()を流して手を東ね 肥前の国は 小城に釣りする」
 ()に入る語句は次のどれでしょうか?
 ①釣 ②餌 ③糸



青木繁歌碑

ヒント

この歌は「村雨集」という青木繁の歌集に収められています。祇園川の傍にはこの歌碑が建てられています。唐津の海を描いた「朝日」を作成しました。代表作「海の幸」は久留米市の石橋美術館に所蔵されています

答え ①